

第15回「全国こども科学映像祭」募集要項

- 目的 科学をテーマとした映像や、観察記録作品を、小・中学生を対象に全国から募集し、優秀な作品を表彰、発表する「全国こども科学映像祭」を開催することで、科学の楽しさ、素晴らしさを理解させ、子どもたちの“科学する心”を育くむとともに、知的好奇心や科学技術への関心を喚起させ、科学的な視野を広く持った、次世代を担う人材の育成と、科学技術の普及啓発に寄与することを目的とする。
- 主催 一般財団法人日本視聴覚教育協会、公益財団法人つくば科学万博記念財団、国立研究開発法人科学技術振興機構、公益財団法人ニューテクノロジー振興財団
- 後援(申請予定) 文部科学省、東京都教育委員会、埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会、茨城県教育委員会、神奈川県教育委員会、長野県教育委員会、静岡県教育委員会、愛知県教育委員会、兵庫県教育委員会、福岡県教育委員会、公益財団法人日本科学技術振興財団、NHK、朝日新聞社、全国科学館連携協議会

<募集作品について>

●募集作品

自然、環境、宇宙、気象、数理、地理、社会、生活などの中にある科学(理科)や技術に関する題材について、観察・実験を通して考察したことや、原理について分析・検証したことなどを、カメラやタブレットPC等を用いて記録、制作した映像作品。

あるいは、同様の題材をプレゼンテーションソフトなどを用いて、動画、静止画、イラスト等で構成(目的・方法・結果・考察)し、解説、テロップ、ナレーション、BGM等を付け、作品として一つにまとめた観察記録作品。

●部門 <小学生部門>

小学生が、個人またはグループで、その保護者・教員等^{*}と一緒に制作した作品。

学級・学校単位での応募も可。

<中学生部門>

中学生が個人、または課外活動などのグループ単位で主体的に制作した作品。

(学級・学校単位での応募、また教員等の指導を受けても可。)

^{*}保護者・教員等には、例えば高校・大学生等や科学クラブ、土曜学級・放課後教室などの指導的立場の者も広く含む。

●制作上のきまり

①ナレーションは原則として日本語であること。

※外国語の使用については事務局に問合せのこと。

②作品は未発表のものであること。

③使用する映像、写真、イラスト等についてはオリジナルなものであること(ただし出典を明らかにした上で、資料写真・図等を引用する場合は除く)。

- ④作品はDVD-video、Blu-ray、PC用ファイル[※]等で提出する。
 ※PC用ファイルについてはMPEG-2、MPEG-4、MOVまたはPowerPointを推奨。
- ⑤応募本数は個人及びグループとも、1制作者1作品。
- ⑥1作品の再生時間は10分以内。
- ⑦応募作品は返却しない。
- ⑧入選作品は、
- ア. 本映像祭の表彰式・上映会での上映、
 - イ. 全国の科学館等での上映、
 - ウ. 成果集に収録しての無償配布、
 - エ. 主催者および国や学校等の公的機関、またはそれに準ずる機関・団体等において、映像ライブラリーでの公開、これら機関のWebサイト（サイエンスチャンネル、サイエンスポータル）や、これら機関が発行する雑誌（視聴覚教育、サイエンスウィンドウ）への掲載
- について承諾し、対価を請求しないものとする。
- ⑨作品中に使用される映像、音楽等は他人の作品の権利を侵害しないものとする。万一、問題が生じた場合は制作者の責任で解決する。

☆応募にあたっては、個人情報、著作権の扱いについての詳細を当映像祭ホームページで予めご確認ください。

<審査について>

●審査委員

日本獣医生命科学大学 学長	池本 卯典
早稲田大学 教授	坂井 滋和
日本学校視聴覚教育連盟 前会長	須藤 太郎
日本科学技術ジャーナリスト会議 副会長	室山 哲也
朝日新聞社 科学医療部 編集長	斎藤 義浩
公益財団法人つくば科学万博記念財団 参事	萩原 俊夫
元 財団法人日本科学映像協会 常務理事	定村 武士

(順不同)

●審査の基準

1. 科学(理科)的なプロセスによる構成(仮説→観察・実験→結果・検証、考察)
 - ・部門に応じて(小学生は観察のみで可、中学生は考察まで重視)評価する。
2. テーマの設定、疑問・課題認識、アイデア、独自性
 - ・応募者自身および子どもたちの科学への興味・関心を深めることに役立っているかを評価する。
3. 映像編集・演出(BGM等)、解説・ナレーションなど
 - ・技術面だけではなく工夫や努力をしているか、また簡潔、適切であるかを評価する。
4. 主体性、役割分担・共同作業の効果
 - ・個人、グループを問わず、子どもたちが主体的に取り組み、共同作業のあとが楽しく見受けられるかを評価する。

上記1～4の項目について、全体的なバランスを総合的に判断し、評価する。

<賞・表彰について>

- 賞 最優秀作品賞/文部科学大臣賞 各部門1点(賞状・楯・副賞)
- 優秀作品賞 各部門2点(賞状・楯・副賞)
- 佳作 各部門2点(賞状・副賞)
- 審査委員会特別賞(該当の作品があれば) 2点以内(賞状・副賞)

●入選作品発表

平成28年11月下旬、直接入選者に通知するほか、

ホームページ <http://www.javea.or.jp/kodomo/> で発表する。

●表彰式・上映会・記念講演会

日時：平成29年1月14日(土)

場所：JST東京本部別館1Fホール(東京都千代田区五番町)

表彰式には、受賞者1名(グループ制作の場合は2名)とその保護者(指導者・引率者等)1名を招待。

<締め切り・送り先・問合せ先>

●募集の締め切り

平成28年10月31日(月)(必着)

※インターネット応募の場合は同日24:00まで

●作品の送り先(問合せ)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-11 虎ノ門PFビル

一般財団法人日本視聴覚教育協会 内

「全国子ども科学映像祭」運営委員会事務局

TEL: 03-3431-2186 FAX: 03-3431-2192

(電話でのお問合せは平日のみ 9:30~17:30)

Mail: kodomo@javea.or.jp

- インターネット応募はこちらから ⇒ <http://www.javea.or.jp/kodomo/entry>